平成 26 年度大気汚染常時監視結果について

【大気・地球環境室】

山添良太、畠山恵介

1. はじめに

環境基本法第16条の規定に基づき、人の健康を保護する上で維持することが望ましい環境上の基準として、二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダント、微小粒子状物質について大気の汚染に係る環境基準が定められている。(表1-1)

また、非メタン炭化水素について、窒素酸化物とともに光化学オキシダントの原因物質であることから、「光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針」が行政上の目標として定められている。(表 1-2)

大気汚染防止法第22条に基づき、大気汚染の状況を把握するため、表2のとおり一般環境 大気測定局(一般局)4局及び自動車排出ガス 測定局(自排局)2局において測定を行った。

2. 測定結果

平成26年度の環境基準の達成状況は、表3のとおりであり、二酸化硫黄、一酸化炭素、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、すべての地点で短期的評価と長期的評価ともに環境基準を達成した。

光化学オキシダントについては、全国的に環境基準の達成率が低い状況にあり、本県においても前年度に引き続き、すべての地点で環境基準を達成しなかった。しかしながら、大気汚染防止法第23条に定める緊急時の基準(注意報発令基準濃度:0.12 ppm)を上回る濃度に達した日は無かった。

非メタン炭化水素については、指針値以下で あった。

微小粒子状物質については、県内4地点で測定している。鳥取保健所では長期的評価及び短期的評価ともに環境基準を達成しなかった。米子保健所と倉吉保健所においては、環境基準の長期的評価では達成したが、短期的評価で非達成であった。

なお、平成26年度の測定結果を表4-1~4-11に示す。

表 1-1 環境基準及び評価方法

1 - 1-114 - 11	12 1 - 1		十次の町画力は
大気汚染物質	環境基準		評価方法
	1時間値の1日平均値が	短期的	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1
	0.04ppm 以下であり、かつ、	評価	時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化硫黄	1 時間値が 0.1ppm 以下であ		年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から
一段旧机英	ること。	長期的	2%の範囲にあるものを除外した値が、0.04ppm 以下で
		評価	あること。ただし、1日平均値が 0.04ppm を超える日が
			2日以上連続しないこと。
	1時間値の1日平均値が	短期的	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時
	10ppm 以下であり、かつ、1	評価	間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
一酸化炭素	時間値の8時間平均値が		年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から
政儿灰糸	20ppm 以下であること。	長期的	2%の範囲にあるものを除外した値が、10ppm以下であ
		評価	ること。ただし、1日平均値が 10ppm を超える日が2日
			以上連続しないこと。
	1時間値の1日平均値が	短期的	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、
	0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、	評価	1 時間値が 0.20mg/m³以下であること。
 浮遊粒子状物質	1 時間値が 0.20mg/m³以下		年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から
子姓松丁从初貝	であること。	長期的	2%の範囲にあるものを除外した値が、0.10mg/m³以下
		評価	であること。ただし、1日平均値が 0.10 mg/m 3 を超える
			日が2日以上連続しないこと。
	1時間値の1日平均値が	短期的	1 時間値の1日平均値が 0.04~0.06ppm のゾーン内又は
	0.04~0.06ppm のゾーン内又	評価	それ以下であること。
二酸化窒素	はそれ以下であること。	長期的	年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から
		評価	98%に相当するもの(1日平均値の年間 98%値)が
		計刊叫	0.06ppm 以下であること。
光化学	1 時間値が 0.06ppm 以下であ	年間を通	じて、昼間(5~20時)の時間帯における1時間値が
オキシダント	ること。	0.06ppm	以下であること。
	1 年平均値が 15μg/m³以下	短期的	測定結果の1日平均値のうち年間98パーセンタイル値
 微小粒子状物質	であり、かつ1日平均値が	評価	が 35μg/m³以下であること。
	35μg/m³以下であること。	長期的	測定結果の1年平均値が15μg/m³以下であること。
		評価	

備考1 短期的評価は、連続して又は随時に行った測定結果により、測定を行った日又は時間について評価するもの。 2 長期的評価は、大気汚染に対する施策の効果等を的確に判断するためなど、年間にわたる測定結果を長期的に 観察したうえ、評価するもの。

表 1-2 光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度指針

~ .	- 1010 1 1 1 1 2 2 1 - 13693 - 12 12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13
大気汚染物質	濃度指針
非メタン炭化水素	午前6時から9時までの3時間平均値が、0.20ppmCから0.31ppmC(炭素量への換算値)までの範囲またはそれ以下であること。

表 2-1 大気測定局一覧

			<u> </u>		元			
測定局				測定	項目/測定	方法		
(区分)	住所	二酸化 硫黄	一酸化 炭素	浮遊粒子 状物質	窒素 酸化物	光化学 オキシダント	炭化 水素	微小粒子 状物質
鳥取保健所 (一般局)	鳥取市 江津 730	0	0	0	0	0	0	0
米子保健所 (一般局)	米子市 東福原 1-1-45	0	_	0	0	0		0
倉吉保健所 (一般局)	倉吉市 東巌城町 2	0	_	0	0	0		0
栄町交差点 (自排局)	鳥取市 栄町 502	_	0	0	0	_	_	
米子市役所前 (自排局)	米子市 加茂町 1-1	_	0	0	0	1	1	
境港市 (一般局)	境港市 誠道町 225-1			0				0

⁽備考) 欄内の○は測定項目。測定方法については、表2-2のとおり。

表 2-2 測定方法一覧

二酸化硫黄	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	窒素酸化物	光化学オキシダント	炭化水 素	微小粒子状 物質
紫外線蛍光法	非分散型赤外線分析法	β線吸収法	化学発光法	紫外線吸収法	直接法	β線吸収法

表 3 環境基準達成状況

測定局	区分	二酸化 硫黄	一酸化 炭素	浮遊粒子 状物質	二酸化 窒素	光化学 オキシダント	微小粒子 状物質
鳥取保健所	一般局	0	0	0	0	×	×
米子保健所	一般局	0	_	0	0	×	\triangle
倉吉保健所	一般局	0	_	0	0	×	\triangle
栄町交差点	自排局	_	0	0	0	_	_
米子市役所前	自排局	_	0	0	0	_	_
境港市	一般局	_	_	0	_	_	0

^{○:}達成 ×:非達成 △:長期的評価では達成したが、短期的評価で非達成 一:未測定又は未評価

表 4-1 二酸化硫黄の測定結果

測定項目:	二酸化硫黄	₹(SO2)		測定期間:	平成	26年度(2014	年度)			
測定局名	有効	測定	平均值	1時間値が		日平均値が		1時間	日平均値	日平均値が0.04	環境基準の長期
	測定日数	時間		0.1ppmを超		0.04ppmを		値の	の2%	ppmを超えた日	的評価による日
				えた時間数		超えた日数		最高値	除外值	が2日以上連続	平均値が0.04ppm
				とその割合		とその割合				したことの有無	を超えた日数
	日	時間	ppm	時間	%	日	%	ppm	ppm	有×∙無〇	日
鳥取保健所	日 359	時間 8603	ppm 0.001		% 0		% 0	ppm 0.018	ppm 0.005	有×·無〇 〇	日 0
鳥取保健所 米子保健所				時間						有×·無〇 〇 〇	日 0 0
	359	8603	0.001	時間 0			0	0.018	0.005	有×·無〇 〇 〇	日 0 0 0

表 4 - 2 一酸化炭素の測定結果

<u>測定項目:-</u>	−酸化炭素	(CO)		測定期	明間	:平成26年度	<u> </u>	14年度)				
測定局名	有効	測定	平均值	18時間値が		日平均値が		1時間	日平均値	日平均値が10	環境基準の長期	1時間値が
	測定日数	時間		20ppmを		10ppmを		値の	の2%	ppmを超えた日	的評価による日	30ppm以上と
				超えた回数		超えた日数		最高値	除外值	が2日以上連続	平均値が10ppm	なったこと
				とその割合		とその割合				したことの有無	を超えた日数	がある日数
	日	時間	ppm	回	%	日	%	ppm	ppm	有×∙無〇	日	日
鳥取保健所	358	8635	0.3	0	0	0	0	1.2	0.5	0	0	0
栄町交差点	363	8722	0.5	0	0	0	0	2.2	1.1	0	0	0
米子市役所	365	8708	0.2	0	0	0	0	0.9	0.4	0	0	0
集計	1086	26065	0.3	0	0	0	0	2.2		0	0	0

表 4-3 浮遊粒子状物質の測定結果

<u>測定項目:</u>	浮遊粒子#	犬物質(3	SPM)	測定期間	: 平	成26年度(2014	4年度	E)			
測定局名	有効	測定	平均值	1時間値が		日平均値が		1時間	日平均值	日平均値が0.10	環境基準の長期
	測定日数	時間		0.20mg/m3を超		0.10mg/m3を		値の	の2%	mg/m3を超えた日	的評価による日
				えた時間数		超えた日数		最高値	除外值	が2日以上連続 ³	平均値が0.10mg/m3
				とその割合		とその割合				したことの有無	を超えた日数
	日	時間	mg/m3	時間	%	日	%	mg/m3	mg/m3	有×∙無〇	日
鳥取保健所	í 360	8660	0.015	0	0	0	0	0.146	0.04	0	0
米子保健所	í 365	8744	0.016	0	0	0	0	0.164	0.043	0	0
倉吉保健所	í 343	8254	0.014	0	0	0	0	0.121	0.038	0	0
境港市	365	8746	0.018	0	0	0	0	0.117	0.046	0	0
栄町交差点	364	8741	0.016	0	0	0	0	0.083	0.042	0	0
<u>米子市役所</u>	í 365	8741	0.018	0	0	0	0	0.181	0.047	0	0
集計	2162	51886	0.016	0	0	0	0	0.181		0	0

表 4-4 二酸化窒素の測定結果

測定項目:	二酸化窒素	素(NO2)			測定期間:平	或26	6年度(2014年	度)						
測定局名	有効	測定	平均值	1時間	1時間値が		1時間値が		日平均値が		日平均値が		日平均値	98%値
	測定日数	時間		値の	0.2ppmを超		0.1ppm以上		0.06ppmを		0.04ppm以上		の	評価による
				最高値	えた時間数		0.2ppm以下		超えた日数		0.06ppm以下		98%値	日平均値が
					とその割合		の時間数		とその割合		の日数と			0.06ppmを
							とその割合				その割合			超えた日数
	日	時間	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%	ppm	日
鳥取保健所	360	8602	0.003	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0	0.008	0
米子保健所	319	7703	0.006	0.044	0	0	0	0	0	0	0	0	0.013	0
倉吉保健所	359	8624	0.003	0.024	0	0	0	0	0	0	0	0	0.007	0
栄町交差点	252	6121	0.01	0.046	0	0	0	0	0	0	0	0	0.019	0
<u>米子市役所</u>	365	8690	0.01	0.054	0	0	0	0	0	0	0	0	0.019	0
集計	1655	39740	0.006	0.054	0	0	0	0	0	0	0	0		0

表 4-5 一酸化窒素の測定結果

測定項目:一酸(比窒素(NO)	測定期間:平原	成26年度(2014年度)		
測定局名	有効	測定	平均値	1時間	日平均値
	測定日数	時間		値の	Ø
				最高値	98%値
	日	時間	ppm	ppm	ppm
鳥取保健所	360	8602	0	0.048	0.004
米子保健所	319	7703	0.001	0.059	0.007
倉吉保健所	359	8624	0	0.01	0.002
栄町交差点	252	6121	0.003	0.038	0.01
米子市役所	365	8690	0.003	0.106	0.01
集計	1655	39740	0.001	0.106	

表 4-6 窒素酸化物の測定結果

測定項目:窒素酮	後化物(NOx)	測定期間:	平成26年度(2014年	F度)		
測定局名	有効	測定	平均値	1時間	日平均值	平均值
	測定日数	時間		値の	の	NO2 /
				最高値	98%値	(NO+NO2)
	日	時間	ppm	ppm	ppm	%
鳥取保健所	360	8602	0.003	0.054	0.01	88.5
米子保健所	319	7703	0.007	0.103	0.016	80.4
倉吉保健所	359	8624	0.003	0.031	0.007	92.8
栄町交差点	252	6121	0.013	0.068	0.027	79.8
米子市役所	365	8690	0.013	0.146	0.027	75.4
集計	1655	39740	0.008	0.146		80.4

表 4-7 光化学オキシダントの測定結果

測定項目:オ	キシダント(O)	X)	測定期]間: 平成26年度(2	014年度)				
測定局名	昼間	昼間測定	昼間の1	昼間の1時間		昼間の1時間		昼間1時	昼間の日
	測定日数	時間	時間値の	値が0.06ppm		値が0.12ppm		間値の	最高1時
			平均值	を超えた日数		以上の日数		最高値	間値の
				と時間数		と時間数			平均值
		時間	ppm		時間	日	時間	ppm	ppm
鳥取保健所	<u>日</u> 357	<u>時間</u> 5276	0.038	<u>日</u> 69	<u>時間</u> 523	<u>目</u> 0	<u>時間</u> 0	0.099	0.049
鳥取保健所 米子保健所							<u>時間</u> 0 0		
	357	5276	0.038	69	523		0	0.099	0.049

表4-8 非メタン炭化水素の測定結果

<u>測定項目: 非</u>	メタン炭イ	L水素(NM	IHC)	測定期	間: 平成26年度	₹(2014年	(度)			
測定局名	測定	平均值	6~9時	6~9時	6~9時		6~9時3時間平均値		6~9時3時間平均値	
	時間		における	測定	3時間平均値		が0.20ppmCを超えた		が0.31ppmCを超えた	
			平均值	日数	最高値	最低值	日数とその割合		日数とその割合	
	時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC	日	%	日	%
鳥取保健所	8530	0.06	0.06	359	1.36	0	4	1.1	3	0.8
集計	8530	0.06	0.06	359	1.36	0	4	1.1	3	0.8

表4-9 メタンの測定結果

測定項目: メタン(CH4)

測定期間:平成26年度(2014年度)

<u> </u>	.01117	W1 VC	/// / / // / / / / / / / / / / / / / /	711/2/		
測定局名	測定	平均值	6~9時	6~9時	6~9時	
	時間		における	測定	3時間平均値	
			平均值	日数	最高値	最低値
	時間	ppmC	рртС	日	рртС	ppmC
鳥取保健所	8530	1.88	1.88	359	2.01	0
集計	8530	1.88	1.88	359	2.01	0

表 4-10 全炭化水素の測定結果

測定項目:全炭化:	水素(THC)	測定期	間:平成26年度(2	:014年度)		
測定局名	測定	平均値	6~9時	6~9時	6~9時	
	時間		における	測定	3時間平均値	
			平均值	日数	最高値	最低值
	時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC
鳥取保健所	8530	1.94	1.94	359	2.4	0.11
集計	8530	1.94	1.94	359	2.4	0.11

表 4-11 微小粒子状物質の測定結果

測定項目:微小粒子状物質(PM2.5)				測定期間:平成26年度(2014年度)					
測定局名	有効 測定 平 測定日数 時間		平均値	日平均 値の 最高値	日平均値が 35.0 µ g/m3を 超えた日数 とその割合		1時間 値の 最高値	日平均値 の 98%値	98%値評価 による日平均値 が35.0 µ g/m3 を超えた日数
	日	時間	μ g/m3	μ g/m 3	日	%	μ g/m3	μ g/m3	日
鳥取保健所	340	8238	17.1	52.1	15	4.4	86	39.5	8
米子保健所	363	8701	14.7	48.5	9	2.5	82	37.3	2
倉吉保健所	337	8093	14.4	47.2	8	2.4	71	35.5	1
境港市	363	8707	13	44.2	6	1.7	72	32.9	0
集計	1403	33739	14.7	52.1	38	2.7	86		11